



感染への取り組み



新型コロナウイルス感染症が流行し1年以上経ちますが収束せず、毎日コロナ感染のニュースばかり。非常事態宣言が解除されても不安やストレスは解消されません。クラスターのニュースが流れると、「もしうちの施設だったら...。」と心配になります。幸いにも当施設では感染者が出ておりません。しかし、感染経路不明が多くなっている事も不安の一つです。面会が中止になっている今、職員が媒介者になる可能性が高くなるため日々注意しています。

当施設で行っている感染予防として、ご利用者の皆様には毎日の検温と手指消毒を実施、マスク着用、出社時の検温と手洗い・うがいをしています。施設内で感染研修も行っていきます。今年に入りPPE研修(PPE=個人防護服)があり、感染とその対策についてや防護服の正しい着用方法を勉強しました。着用順を間違えると感染につながるため、受講者は真剣でした。受講した感想は、「着用しなくて済むように自分ができる予防をしよう。」「不織布なので着ると暑い、夏場ならもっと暑いだろう。」「大変な思いをされている医療従事者の方々には感謝しないとけない。」と感じました。自分に今出来ることをし、家族や職場の方々など大切な人を守るためにも今後も感染に気を付けていきたいと思っています。



1. 家族の皆様へお願い

持参された個人の物には必ずお名前を記入して下さい。紛失の原因にもなりますのでご協力お願い致します。



黒の衣類には
名前を縫い付けて下さい！
アイロンシールなどでもOKです



今回の郷土料理

1月…奈良県
「飛鳥鍋」



2月…岡山県
「ひじき五目寿司」
「ピーナツ豆腐」
「黄ニラ入りすまし汁」



3月…広島県
「美酒鍋」
「煮ごめ」



イベント報告

本館4階

毎年恒例の節分の豆まきを今年も行いました。リアルな鬼と少しお笑いの鬼2人にコロナを吹き飛ばす勢いで豆を撒かれました。これでコロナも退散すると良いですね。この後、投げた豆を食べると喉に詰まる危険があるので豆の代わりに卵ボーロをみんなまで頂きました。



3月はひな祭りレクをフロアで行いました。手作りのクレープに生クリームや果物を巻き、皆様喜んで召し上がっておられました。



お屋さん
みたい!



イベント報告

別館3階

別館3階では、3月にこはく・めのうユニット合同でひな祭りレクリエーションを行いました。こはくユニットに集まって頂き、ホワイトデーにちなんで手作りのバナナケーキとフルーツエをご利用者の皆様に提供して、歌を歌ったりプレゼントをお渡しして、皆様と楽しいひと時を過ごさせていただきました。

感染対策としてご利用者の皆様と一緒に作る事ができませんでした。顔になれた瞬間でした。





デイサービス



10月より特養部から異動してまいりました、加藤と申します。どうぞよろしくお願い致します。それでは、1月・2月の取り組みについてご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症のため初詣は中止となり、新年最初の行事は「書初め」をしました。「昔はよく書いたけど、うまく書けるかしら。」との声も聞かれましたが、皆様一生懸命書いておられました。プレスレット作りでは、ピーズの穴に糸を通す工程に悪戦苦闘しながらも無事に完成。「よかった〜上手く出来た。孫にちよっだいって言われるわ。」と皆様大変喜ばれました。新春ビンゴ大会では、カードに書かれている数字が画面に出ると「あった〜」と大興奮。普段あまりレクリエーションに参加されない利用者様も楽しんでおられました。

毎年大好評の壁画は「梅林」を制作。折ったり、切ったりの細かい工程にも皆様真剣に取り組まれていました。完成作品を見て「わあ〜キレイ!」とたくさんさんの声が聞こえました。2月には「雛飾り」「水仙の壁画」「サボテンの置き飾り作り」「ヒヤラギイワシの壁飾り」等を作り、初めて「水彩画」にもチャレンジされ、「こんなやつた事ないですわ。出来るかな。」と何度も下書きをされいざ本番。とても素敵な作品ができ、只今デイサービス入口に展示しております。好評で第2段を予定しています。他には、段ボールにおじゃみを何個乗せられるかを競い合い、個人戦の際は「頑張っ〜!」と応援の声が聞かれ、チーム戦の際は「あっちこっちと交互におきますか?」と作戦会議をされる姿が見られました。最後にいつ終息するかわからない新型コロナウイルスですが、引き続き手洗いや消毒、換気を継続し皆様に楽しんで過ごして頂ければと思っております。



Q: お年寄りで手足が動かしづらくなっている人はどうやって御飯を食べているのですか?

教えて! HEROBEKA「ナー」

A: お年寄りの方の中には、手を握ることが難しくなっている人や、手首を動かしづらい人、肩が動かしづらい人とご利用者お一人お一人様々です。ご自身でお食事を食べることが難しくなってきたり、介護職員がお手伝いしながら食事をする事や、食べるタイミングなどもお食事の楽しみの中の一つになると思います。食べる動作が難しくなってきた場合、すぐに職員がお手伝いに入るのではなく、一度、自助具を使用することを試してみる事は、自分で出来るというプライドや生活上の楽しみを維持する事にも繋がると思います。

施設だけでなく、在宅で生活をされている方にとっても自助具を使用しご自身でお食事を楽しんで頂く事は、QOL(生活の質)にも繋がると思いますので試してみたいかがでしょうか? 「自助具をどこで買えばいいのか、どんな自助具を買えばいいのか分かりません。」というような質問があれば、いつでも生活相談員にご相談ください。



持ちやすいグリップ



すくいやすい角度になっています



鼻に当たらない



小 綬 鶏

第82号
令和3年

EPA研修生活躍中

新任のご挨拶

この度、人事異動により3月1日付で特別養護老人ホーム高山ちどり施設長に着任いたしました近藤です。異動前は大阪市鶴見区にある在宅施設（通所介護・訪問介護・居宅介護支援・プランチ・シルバーハウジング事業）で5年間管理者を務めさせていただきました。その前の約9年間は高山ちどりのオーピングからデイサービスセンターで相談員業務を担っていました。再び、高山ちどりに戻ることができ嬉しく思っています。今回の異動は身にあまる重責ではありませんが、一意専心・高山ちどりの発展に全力を尽くし皆様のご期待に副うよう努力いたします所存です。

新しい職場に慣れるまでには何かとご迷惑をお掛けしますが、なにとぞ前任者同様格別のご指導とご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

施設長

近藤 光

退任のご挨拶

この度、高山ちどり施設長を退任することになりました。令和元年5月から皆様には色々支えて頂きましたことを、ここに心よりの感謝申し上げます。後任の近藤施設長にも変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

笹尾 高弘



高山ちどりで一緒に働く仲間でインドネシアから3年前から研修生として来てくれているウイナさん、ティニさん、イケさん、アユさんが今年1月31日に介護福祉士の国家試験を受けられました。日本人の私たちでも難しい試験なので仕事をしながら日本語の勉強をして大変だったことと思います。ここ高山ちどりで初めてのEPA候補生だったので彼女たちは環境に慣れるのにも関西弁に慣れるのも大変だったと思いますが、持ち前の明るさで、ご利用者の皆様やスタッフにも可愛がられ、今では現場に欠かせない存在となっています。今回の受験結果で2名の合格者があり、これからは高山ちどり別館で仕事をされる事になりました。これからもどうぞ宜しくお願いします。



桜に負けず
とても cute

レイナードさん
ようこそ日本へ
ようこそちどりへ



4月1日より新たにレイナードさんがフィリピンよりEPA候補生として参加される事になりました。一年半ほど日本語を勉強するために留学をされており、その間半年ほど他施設のグループホームにてアルバイトの経験があります。学生のビザが切れ、自国へ戻られましたが、アルバイトをした施設での思い出が忘れられずにいたそうです。そんな時、たまたま見たインターネットで、EPA制度を知ったそうです。

『これから頑張ります！よろしくお祈りします！』とキラキラ輝いたまなこが素敵な青年です。